

## 核と戦争をなくそう！「8・6ヒロシマ大行動」開催迫る

被爆64周年となる「8・6ヒロシマ大行動」の開催が間近になりました（詳細は全国通信、およびチラシを参照）。今年、あの田母神俊雄・前航空幕僚長が「8・6」の当日、広島で日本の核武装を叫び、「ヒロシマの心」を踏みにじる講演を予定しています。また、オバマ米大統領の「プラハ演説」が核廃絶につながるものなのか、議論が起こっています。当通信をお読みの方にも、オバマ演説を少しでも前向きにとらえようという向きもおありかと思いますが、「核抑止論」に則った核政策の堅持という点だけをとって、称賛には値しないものではないでしょうか。このように、さまざまな側面から重要な意味を持つ今年の「大行動」に、県内からはすでに十数名の方が参加を予定されています。その他、「大行動」の前後にも多彩な集会や行動が、広島市内を中心に行われます。皆様もぜひ「8・6ヒロシマ」へ！



### ◎緊急カンパ送金のご報告&ヒロシマカンパのお願い◎

先月号にてご報告いたしました、全国事務局の財政難に対して皆様からご協力いただいた貴重なお金ですが、7月3日に緊急カンパ00000円、賛同金00000円（これは全国と折半の金額ですから、実際には00000円になります）の計00000円を全国事務局に送金しました。その後も続々とお寄せいただいています。本当にありがとうございました。一方、ヒロシマカンパは7月14日現在00000円にとどまっています。お願いばかりで恐縮ですが、特に緊急カンパをされなかった皆様には、ヒロシマカンパへのご協力をいただくと大変助かります。会計報告は、次号にて行う予定です。

## 9条を変えるな！百万署名 県到達数 19,519筆 (+307)

◆裁判員制度反対：1,308筆 (+96) ◆星野さん再審・釈放：292筆

◆辺野古基地阻止：76筆 ◆児ポ法改悪反対：23筆 …7/19現在

### ①街宣署名（6/19～7/19）

日時	場所	人数	9条署名	裁判員署名	星野署名	ピラ
計	11回	38名	287筆	96筆	31筆	2810枚

### ②個人・団体より

●9条署名 M教会より、20筆 …ありがとうございました。

## 8月の予定

(省略)

### 【報告】第5回「裁判員制度はいらない！県実行委」(7月8日、参加者10名)

- ①千葉地裁初の裁判員裁判の公判日程は、9月14、15、17、18日と報道されています。次回の実行委で、同公判への弾劾行動について決定します。総力結集で、抗議の声を！！
  - ②第2回裁判員候補者通知の届く時期に合わせた大集会は、12月5日(土)と決まりました。「3・22集会」を大きく上回る行動にしましょう。どんな内容にしたらよいか、ご意見をどしどしお寄せください。ご連絡は、県実行委( )まで。
  - ③次回実行委は、8月20日(木)18:00から、0000にて行います。この間、3名の方が新たに実行委員になってくださいました。もっともっと大きな実行委にして、運動を広げましょう。皆様もぜひ、実行委にご参加ください。
- ★7・25全国一斉行動は、県内ではJR本八幡駅北口にて街宣を行いました。10名の参加で、署名29筆、ビラは450枚を配布。実行委員以外に地元市川の市民の方も加わってくださり、キャンピングテーブルも出してにぎやかなアピールとなりました。反対運動は、ますます拡大しています。

### 連載「沖縄を知る」第3回

嘉数高地(宜野湾市)から見た普天間基地と沖縄国際大学、キャンプシュワブの中を走る辺野古への道、安保の丘(嘉手納町)から見える広大な嘉手納基地、国道沿いの金網越しに並ぶ戦闘機、那覇の国際通りで休暇を楽しむあどけない米兵。沖縄はまさに基地の島であります。

戦時中日本軍からは本土防衛の捨石、米軍からは本土攻略の拠点とされました。戦後、昭和天皇のメッセージにより米軍占領を許し、日本から分離され琉球政府として米軍の信託統治を受けました。朝鮮戦争、反共など時代背景もありましたが、軍事植民地として島民は様々な苦勞、屈辱を強いられました。その法的根拠となったのがサンフランシスコ講和条約3条と安保条約です。その後改定に伴い安保条約6条に基づく地位協定に引き継がれていきました。その運用においてマニュアルにより米軍優位の解釈をし、さまざまな特権を保障してきました。返還後もそれは変わらず、最近の新聞報道によりますます核の持ち込みも密約としてあったと認めています。サンフランシスコ講和条約第3条は、日本が国連に加盟した1956年時点で国連憲章7条「主権平等の原則を尊重」に違反しています。

ソ連崩壊に伴いNATOは見直しをしていたにもかかわらず、私たちは気づくこともなく、湾岸戦争により、ガイドラインの見直しにより、米国の戦略に従い続けているように見えます。その後の日本の政治を見ますと慙愧に堪えません。

でも、平和を希求する世界中の人々と共に9条に基づく政治へと転回するように働き続けたいと思います。また、ウチナンチューと共に基地のない島の未来図を描きたいと思います。(A)【了】